

安定した漁業 つながる

栽培漁業の推進

浅海及び沿岸漁業資源の増大のため、ウニ・アワビ・ヒラメ・ニシンの種苗放流事業を進め漁業資源の保護と育成対策を促進し、安定した漁獲量の確保を図っています。

漁業の歴史は古く、江戸時代中期から豊富な水産資源に恵まれ漁業のまちとして栄えてきました。現在は、エビ・サケ・タコ・カレイ・ウニ・アワビ・ホタテ・ナマコなどの漁業を中心とし、特に甘エビは、東京、北陸方面にほとんどが出荷され、航空便による輸送は鮮度が保たれ、市場から高い評価を得ています。しかし近年の漁業をめぐる環境は厳しく、魚価の低迷や磯焼けによる浅海資源・藻場の減少、さらには後継者不足という問題を抱えています。そのため、日本海沿岸の磯焼け対策と栽培漁業の一層の推進と新たな漁場造成、資源管理、既存漁場の再生を進めており、また、次代を担う漁業後継者の確保と育成のために、経営基盤の強化、漁業施設の整備にも取り組んでいます。



経営へ 浜づくり



漁獲物の地域ブランド化の 開発と販売

今後増毛町では、安定した漁業経営のため、地域特産としてのブランド化や積極的な販路拡大と付加価値を高め、漁家収益の向上へとつなげる取り組みを行います。

